

東洋大学健康スポーツ科学部規程

(趣旨)

第1条 この規程は、東洋大学学則（昭和24年4月1日施行。以下「学則」という。）に基づき、健康スポーツ科学部の教育研究に関し必要な事項を定める。

(教育研究上の目的)

第2条 健康スポーツ科学部は、学則第4条の2に基づき、学部及び各学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を、別表第1のとおり定める。

(卒業の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針)

第3条 健康スポーツ科学部は、学則第4条の3に基づき、学部及び各学科の卒業の認定及び学位授与に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受入れに関する方針を、別表第2のとおり定める。

(教育課程)

第4条 健康スポーツ科学部は、学則第39条第1項から第5項までの規定に基づき、各学科の教育課程における科目区分、授業科目の名称、単位数、配当及び履修方法を、別表第3のとおり定める。

(卒業に必要な単位等)

第5条 健康スポーツ科学部は、学則第52条に基づき、各学科の卒業に必要な単位等を、別表第4のとおり定める。

(履修上限単位数)

第6条 健康スポーツ科学部は、学則第42条第3項に基づき、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を、24単位とする。

(教育職員その他資格)

第7条 学則第45条に基づき、健康スポーツ科学部で取得できる資格は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 教育職員となる資格
- (2) 食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格
- (3) 栄養士となる資格

2 前項第1号の資格において、健康スポーツ科学部で取得することができる教育職員免許状の種類及び教科は、次表のとおりとする。

学科	免許状の種類及び教科
健康スポーツ科学科	中学校教諭1種免許状（保健）
	中学校教諭1種免許状（保健体育）
	高等学校教諭1種免許状（保健）
	高等学校教諭1種免許状（保健体育）
	養護教諭1種免許状

(資格取得のための授業科目及び単位数)

第8条 健康スポーツ科学部で資格を取得しようとする者は、次の各号に定める所定の授業科目の単位を修得しなければならない。

- (1) 教育職員となる資格 別表第5に掲げる授業科目の単位を修得
- (2) 食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格 別表第6に掲げる授業科目の単位を修得

(3) 栄養士となる資格 別表第7に掲げる授業科目の単位を修得

(改正)

第9条 この規程の改正は、学長が健康スポーツ科学部教授会の意見を聴き、学部長会議での連絡調整を経て行う。

附 則

この規程は、2023年4月1日から施行する。

別表第1 教育研究上の目的（第2条関係）

健康スポーツ科学部

1. 人材の養成に関する目的
<p>少子高齢・人口減少社会を背景とした日本の抱えるさまざまな課題やその先の新たな社会を見据え、グローバルな視点を持ち、多様性を理解し、あらゆる人々のスポーツや健康づくりを健康スポーツ科学の観点から総合的に支援し、広く社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。</p>
2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
<p>最新の健康スポーツ科学を深く学習することにより、人々のスポーツや健康づくりを支援するための高度な専門的知識と技術を修得させる。さらには高度な倫理観を身につけ、自ら判断し自主的かつ主体的に問題を解決できるとともに、グローバルな感覚をもつ実践者として活躍できる専門人材を輩出するため、以下の能力を身につけることを教育目標とする。</p> <p>(1) 倫理観をもち他者と協調しながら主体的に課題解決をしようとする能力 (2) 多様性を理解しさまざまなコミュニケーションできる能力 (3) 課題発見と解決に至るまでのプロセスを提示し実践できる能力 (4) 専門的知識や技術を備え、実践と評価を繰り返しながら実社会で活躍できる能力 (5) 健康やスポーツ、食や栄養の新たな可能性や発展性を創造し発信できる能力</p>
3. その他の教育研究上の目的
<p>さまざまな専門領域と積極的に連携を図り、学部学科内外の横断的な教育研究を展開することにより、健康やスポーツ、食や栄養の多様性と可能性の創造を目指す。また、教育研究活動から得た知見を広く地域社会に還元することにより、健康やスポーツ、栄養領域発展への貢献を目指すとともに、教育研究の高度化によって多くの活躍人材の輩出を目指す。</p>

健康スポーツ科学部健康スポーツ科学科

1. 人材の養成に関する目的
<p>スポーツを「する」人、「みる」人、「ささえる」人として社会に貢献できる人材の育成、さらには少子高齢・人口減少社会に生きる現代人が抱える健康問題に対して、健康スポーツ科学を通じた解決策を提供できる人材の育成を目指す。健康とスポーツの機能的、社会・文化的側面に関する教育研究により、健康スポーツ科学に関する幅広い知識や技術を修得し、あらゆる人々の健康づくりとスポーツパフォーマンス向上、さらにはQuality of Life向上に寄与できる専門人材を育成する。</p>
2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
<p>理論や実践を有機的に連携させた教育を通して、健康やスポーツに関わる最新の知識と技術を総合的かつ系統的に学ぶことにより、科学的思考力、エビデンスに基づく実践力、多様性を理解しさまざまなコミュニケーションできる能力、健康やスポーツの可能性を見出し新たな発信ができるイノベーション力などを修得させる。加えて、人々に関わる専門職として倫理観や協調性、リーダーシップ力を身につけさせる。</p>
3. その他の教育研究上の目的
<p>さまざまな専門領域と積極的に連携を図り、学部学科内外の横断的な教育研究を展開することにより、健康とスポーツの多様性と可能性の創造を目指す。また、教育研究活動から得た知見を広く地域社会に還元することにより、健康やスポーツ業界発展への貢献を目指すとともに、教育研究の高度化によって多くの活躍人材の輩出を目指す。</p>

健康スポーツ科学部栄養科学科

1. 人材の養成に関する目的
<p>生物学、化学、生理学、疫学を基盤として、栄養学、食品衛生学、公衆衛生学、スポーツ栄養学、生活習慣病予防学、トレーニング科学などを学び、栄養学を基軸に栄養科学とスポーツ科学の両面を探究することにより、食・栄養の観点からスポーツパフォーマンス向上や健康づくり、さらにはQOL向上に寄与できる専門人材を育成する。学際的な視点と科学的根拠に基づく専門知識や技術の修得により、スポーツ栄養科学領域における新たな価値を創造し、いきいきとした社会の実現に貢献する人材を育成する。</p>
2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
<p>食品機能科学やスポーツ栄養科学などの専門分野を系統的かつ総合的に学び、親和性の高い他の学問分野の知識も身につけながら、栄養管理の実践手法を会得する。健康・スポーツの付加価値を創造するための幅広い教養力や高度な専門力、課題の本質を的確に捉え解決に導くための多角的、俯瞰的、かつ科学的な思考力や分析力、知識や技術を最大限に活かし実装するためのイノベーション力や発信力、国内外のあらゆる現場で活躍するための語学力、コミュニケーション力、人間理解力を修得する。</p>
3. その他の教育研究上の目的
<p>異なる分野間の連携・融合を積極的に行い、教育研究を活性化させる。活動により得た知見を広く地域社会に還元することで、スポーツ界や食品業界の発展に寄与する。また、高度な知識と技術を備えた幅広い活躍人材を輩出することにより、社会の活性化に貢献する。</p>

別表第2 卒業の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針（第3条関係）

健康スポーツ科学部

1. 卒業の認定及び学位授与に関する方針
健康スポーツ科学部の教育目標に基づき教育課程に定められた科目を修得し、本規程に定める卒業要件を満たした以下の能力を備えた学生に対して、卒業を認定し学位を授与する。 (1) 倫理観をもち他者と協調しながら主体的に課題解決をしようとする能力 (2) 多様性を理解しさまざまなコミュニケーションできる能力 (3) 課題発見と解決に至るまでのプロセスを提示し実践できる能力 (4) 専門的知識や技術を備え、実践と評価を繰り返しながら実社会で活躍できる能力 (5) 健康やスポーツの新たな可能性や発展性を創造し発信できる能力
2. 教育課程の編成及び実施に関する方針
健康スポーツ科学部の教育目標に基づき、4年間を通して以下の教育課程を編成する。 (1) 基礎的な学力と豊かな教養を身につけるための基盤教育科目を配置する。 (2) キャリア形成や社会人基礎力を修得するための科目を専門教育科目にも配置する。 (3) 学部共通の専門科目を配置し必修科目を設定することで、学部の教育内容を明解にする。 (4) 各学科の特色を生かしたユニット体制を形成することで、学生の支援体制を明確にする。 (5) 実社会への適応力を養うため、諸資格取得に対応した教育課程編成や実践科目の配置を行う。 (6) 学生の自立性や創造性を養うため、問題解決型授業を配置する。 (7) 俯瞰的な視野と応用可能な知識を養うため、親和性のある幅広い分野の専門科目を配置する。 (8) 多文化を理解しグローバルに活躍するための科目を配置する。 (9) スポーツ科学と栄養科学を併せもつ学部の特性を活かし、学科間で横断可能な科目を配置する。 (10) 社会の変化への適応と柔軟な学生支援を実現するため、多様な学習方法を提供する。
3. 入学者の受入れに関する方針
健康スポーツ科学部の人材の養成に関する目的や教育目標に基づき、以下のような意欲と能力を備えた人物を受け入れる。 (1) 健康スポーツ科学に関心をもちスポーツや栄養を通じて人々の健康に寄与する意欲がある。 (2) 倫理観を備え、他者と協働して取り組む姿勢やコミュニケーション力がある。 (3) 問題意識や目的をもち自ら積極的に学ぼうとする意欲がある。 (4) 健康スポーツ科学部で学ぶために必要な基礎的学力を有する。

健康スポーツ科学部健康スポーツ科学科

1. 卒業の認定及び学位授与に関する方針
健康スポーツ科学科の教育目標に基づき教育課程に定められた科目を修得し、本規程に定める卒業要件を満たした以下の能力を備えた学生に対して、卒業を認定し学位を授与する。 (1) 健康やスポーツに関する科学的知識のうえに思考判断できる。 (2) 健康づくりやスポーツにおけるパフォーマンス向上を支援する専門家として指導力、実践力を有し、他者と協働しながら主体的に社会課題を解決することができる。 (3) 全てのライフステージや生活状況にある人々を理解して健康づくりやスポーツ活動を支援する意欲がある。 (4) 多様性を尊重し、異文化・多文化を理解する姿勢やそのための基礎知識を身につけている。 (5) グローバル化に対応した言語能力、コミュニケーション力、論理的思考力をもち、加えてICTスキル等の汎用的技能を身につけている。
2. 教育課程の編成及び実施に関する方針
健康スポーツ科学科の教育目標に基づき、4年間を通して以下の教育課程を編成する。 (1) 1年次は、哲学教育、グローバル教育、キャリア教育などを必修科目とすることにより基礎知識や人間力を養うと同時に、基礎的専門科目やアクティブラーニング科目を通して健康とスポーツの多様性を理解し、2年次以降の学習プロセスに繋げる。 (2) 2年次は、講義・演習・実習などによる専門科目の継続的な学びに加え、8つの専門分野（※1～8）において課題解決型学習（PBL）を展開し、学外のフィールドを活用した健康スポーツ科学の実践教育も経験することで、課題の発見・解決能力や計画・立案力、行動力などの素養を身につけ、自身に適合する専門分野の具体化と3年次以降の学習・研究テーマの選択に繋げる。 (※1) ヒューマン・ボディ・サイエンス：健康づくりやトレーニングを検討するための基礎として解剖学、生理学、生化学から運動生理学までを主要とする分野 (※2) コミュニティ健康スポーツ：地域の健康づくりやスポーツ活動を支援するためのヘルスプロモーションや健康増進科学、健康運動指導法等を主要とする分野 (※3) 学校保健・スポーツ教育：学校における保健活動や保健体育教育を実践的に学び、養護教諭、保健体育教員、スポーツ教育者の育成などを主要とする分野 (※4) 健康・スポーツ文化：健康やスポーツに関わる現象について社会文化的な側面からそのあり方や理論を学び、問題解決に必要な科学的な根拠を提供する分野 (※5) アスレティック・コンディショニング：競技力向上、健康問題予防のためのコンディショニングやリコンディショニングと包括的なアスリート支援を主要とする分野 (※6) スポーツ情報：運動やスポーツから得られるさまざまな身体データの測定評価、処理法を学び、人々の健康増進やアスリートのコンディショニングに対してデータからの支援を主要とする分野 (※7) コーチング：専門競技のスキルやパフォーマンス指導法に加え、プレイヤーの自立を尊重し、パフォーマンス向上を支援するための環境づくりを主要とする分野 (※8) スポーツビジネス：プロスポーツやトップスポーツ、スポーツ組織の経営マネジメントなど、スポーツの産業化を主要とする分野 (3) 3年次以降は専門科目を中心にさらに学びを深化させ、より高度な知識や技術の修得に繋げていくとともに、演習科目（ゼミナール）の展開により、専門的な知識や技術を基にした実践力や指導力、研究力を修得することに加え、4年次には卒業研究・論文の作成によりこれら能力の確実化と定着化を図る。 (4) ボランティア、フィールドワーク、インターンシップ、国際交流などに関する専門科目を配置し、さまざまな現場を体験することにより、実社会における健康とスポーツの価値や重要性を知ると同時に、多様性を尊重し異文化・多文化への理解や協調性を身につける。 (5) 諸資格取得に対応した教育課程編成や実践科目配置をすることにより、高度な実践者・指導者を育成する。 (6) ユニット体制で教育を展開すると同時に、ユニット間、学科間での連携による学修の機会を設けることにより、幅広い視野と知識を修得する。

3. 入学者の受入れに関する方針

健康スポーツ科学科の人材の養成に関する目的や教育目標に基づき、以下のような意欲と能力を備えた人物を受け入れる。

- (1) 健康スポーツ科学に関心をもち、スポーツを通じて人々の健康に寄与する意欲がある。
- (2) スポーツを「する」人、「みる」人、「ささえる」人として社会に貢献する意欲がある。
- (3) 積極的に学ぼうとする意欲をもち、他者と協働して取り組む姿勢がある。
- (4) 多様性を理解し、さまざまなライフステージや生活状況にある人々に対する関心や理解をもち、愛情をもってコミュニケーションをとる姿勢と能力がある。
- (5) 健康スポーツ科学科で学ぶために必要な基礎的学力を有する。

健康スポーツ科学部栄養科学科

1. 卒業の認定及び学位授与に関する方針

栄養科学科の教育目標に基づき教育課程に定められた科目を修得し、本規程に定める卒業要件を満たした以下の能力を備えた学生に対して、卒業を認定し学位を授与する。

- (1) 栄養学に関する基礎知識のうえにスポーツ科学や健康科学などの専門知識や技術を修得し、実社会で実践する。
- (2) 「栄養」、「スポーツ」、「健康」を総合的に理解し、健康課題をはじめとした社会問題を解決する。
- (3) 生命に対する高い倫理観と俯瞰的な視野をもって広く社会に貢献する。
- (4) 社会情勢や多文化を理解し受容したうえで他者と連携・協働しながら物事に真摯に取り組む。
- (5) 新たな価値創造を目指し、リーダーシップをもって力を発揮する。

2. 教育課程の編成及び実施に関する方針

栄養科学科の教育目標に基づき、4年間を通して以下の教育課程を編成する。

(1) 1年次は、生物学、化学、生理学、栄養学、食品学、疫学などの基礎知識や、哲学教育、キャリア教育などの社会人基礎力を中心に学び、4年間の学修やその先のキャリア形成の礎となる知識を身につけ、正しい物の見方、考え方を養うとともに、ビジョンと目標をもち計画的に学修を進めるための学修基盤を形成する。

(2) 2年次からは、扱う領域や専門性を広げ、より実践的に学んでいくことで、分子・細胞からヒト、人間集団に至るまでを総括的に理解し、食品機能科学やスポーツ栄養学などの専門知識、栄養管理の実践手法を修得していく。課題解決型学習（PBL）により、課題の発見・解決力、計画・立案力、行動力などの力をつけ、社会的課題の解決に積極的に取り組む姿勢を養う。

(3) 3年次以降は、専門性に応じた4つの分野（栄養疫学・栄養教育（※1）、スポーツ栄養・生理学（※2）、食理学（※3）、生活習慣病予防学（※4））の学びを深化させ、より高度な知識や技術を修得する。また、研究室の配属により成果をアウトプットする力も養う。

（※1）栄養疫学・栄養教育：健康寿命の延伸と自然に健康になれる持続可能な食環境形成に寄与するために、さまざまな特性をもつあらゆる集団における食意識、知識、食行動、食事、料理、食品、栄養素と健康状態に関わるデータ解析や、行動変容技法を用いた個人への働きかけを行い、栄養および健康上の課題を解決できる力をもつ人材を育成する。

（※2）スポーツ栄養・生理学：食事摂取や身体活動に伴う生体応答とそのメカニズムを生理学的に明らかにし、一般市民の健康づくりからアスリートのコンディショニング維持まで、それぞれの対象に見合った栄養管理や運動指導ができる人材を育成する。

（※3）食理学：食品由来の機能性成分の新たな生理学的及び薬理学的作用を明らかにし、その作用に基づいた中高年の未病対策及びアスリートのコンディショニング維持が可能な新たな方法論の開発に貢献しうる人材を育成する。

（※4）生活習慣病予防学：栄養、運動、休養の相互関係を理解し、健康な個人または集団を対象として、国民の健康の維持・増進、生活習慣病の予防や、フレイル予防を目的とした対策を講じられる人材を育成する。

(4) ユニット体制を敷くことにより、学生の志向にあわせた学修・キャリア形成支援を実行する。

(5) 「栄養」、「スポーツ」、「健康」の領域に関する科目のほか、多彩な専門科目をラインナップし、多角的に捉える思考力や分析力を身につける。

(6) 実験・実習科目や実践科目に加え、企業・自治体でのインターンシップの機会を設け、実社会での実践力と対応力をもちあわせた人材を輩出する。

(7) 海外をフィールドとした研修やインターンシップの機会を設け、グローバルな視野をもちあわせた活躍人材を輩出する。

3. 入学者の受入れに関する方針

栄養科学科の入学者の養成に関する目的や教育目標に基づき、以下のような意欲と能力を備えた人物を受け入れる。

- (1) 食品の栄養学的機能が身体活動に与える影響について関心がある。
- (2) 健康・スポーツを支援する専門人材として栄養管理に携わり活躍する意欲と能力がある。
- (3) 専門知識や技術を活かし社会に貢献したいという目的意識と向上心をもつ。
- (4) 広い視野と柔軟な発想をもち、常に自ら積極的に学ぼうとする強い意欲がある。
- (5) 「栄養」、「スポーツ」、「健康」を総合的に理解するために必要な基礎学力を有し、生物学や化学などの必要とされる基礎科目も意欲的に勉学する姿勢をもつ。

別表第3 教育課程（第4条関係）

(1) 健康スポーツ科学部 基盤教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法	
哲学・思想	選択必修	哲学	1～4	2	2単位選択必修	
哲学・思想	選択必修	生命と倫理	1～4	2		
哲学・思想	選択必修	宗教学	1～4	2		
学問の基礎（人文科学）	選択／選択必修	日本文学	1～4	2	栄養科学科のみ2単位選択必修	
学問の基礎（人文科学）	選択／選択必修	外国文学	1～4	2		
学問の基礎（人文科学）	選択／選択必修	歴史学	1～4	2		
学問の基礎（人文科学）	選択／選択必修	美術一般	1～4	2		
学問の基礎（人文科学）	選択／選択必修	音楽一般	1～4	2		
学問の基礎（人文科学）	選択／選択必修	文化人類学	1～4	2		
学問の基礎（社会科学）	選択／選択必修	経済学	1～4	2		
学問の基礎（社会科学）	選択／選択必修	経営学	1～4	2		
学問の基礎（社会科学）	選択／選択必修	法学	1～4	2		
学問の基礎（社会科学）	選択／選択必修	政治学	1～4	2		
学問の基礎（社会科学）	選択／選択必修	地理学	1～4	2		
学問の基礎（社会科学）	選択／選択必修	社会学	1～4	2		
学問の基礎（社会科学）	選択／選択必修	心理学	1～4	2		
学問の基礎（社会科学）	選択／選択必修	統計学	1～4	2		
学問の基礎（自然科学）	選択／選択必修	数学	1～4	2		
学問の基礎（自然科学）	選択／選択必修	物理学	1～4	2		
学問の基礎（自然科学）	選択／選択必修	現代化学	1～4	2		
学問の基礎（自然科学）	選択／選択必修	生物学	1～4	2		
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	地域文化研究A	1～4	2		
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	地域文化研究B	1～4	2		
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	地域文化研究C	1～4	2		
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	地域文化研究D	1～4	2		
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	地域文化研究E	1～4	2		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	英語および英語圏社会事情	1～4	2		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	中国語および中国語圏社会事情	1～4	2		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	フランス語およびフランス語圏社会事情	1～4	2		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情	1～4	2		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	韓国語および韓国語圏社会事情	1～4	2		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	留学のすすめ	1～4	2		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	異文化理解概論	1～4	2		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	海外研修Ⅰ	1～4	2		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	海外研修Ⅱ	1～4	2		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	海外実習Ⅰ	1～4	2		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	海外実習Ⅱ	1～4	2		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外研修Ⅰ	1～4	1		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外研修Ⅱ	1～4	1		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外研修Ⅲ	1～4	1		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外研修Ⅳ	1～4	1		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外実習Ⅰ	1～4	1		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外実習Ⅱ	1～4	1		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外実習Ⅲ	1～4	1		
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外実習Ⅳ	1～4	1		
国際人の形成（語学）	必修	英語ⅠA	1	1		
国際人の形成（語学）	必修	英語ⅠB	1	1		
国際人の形成（語学）	必修	英語ⅡA	1	1		
国際人の形成（語学）	必修	英語ⅡB	1	1		
国際人の形成（語学）	必修	英語ⅢA	2	1		
国際人の形成（語学）	必修	英語ⅢB	2	1		
国際人の形成（語学）	必修	英語ⅣA	2	1		
国際人の形成（語学）	必修	英語ⅣB	2	1		
国際人の形成（語学）	選択	Intercultural Communication Skills IA	1～4	1		
国際人の形成（語学）	選択	Intercultural Communication Skills IB	1～4	1		
国際人の形成（語学）	選択	Intercultural Communication Skills IIA	1～4	1		
国際人の形成（語学）	選択	Intercultural Communication Skills IIB	1～4	1		

国際人の形成 (語学)	選択	English Test Preparation I	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	English Test Preparation II	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	中国語 I	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	中国語 II	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	フランス語 I	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	フランス語 II	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	ドイツ語 I	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	ドイツ語 II	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	韓国語 I	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	韓国語 II	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Business English Communication	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	アカデミックライティング	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	テクニカルライティング	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking	1~4	2	留学支援科目
国際人の形成 (語学)	選択	IELTS for Study Abroad II Listening/Speaking	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	IELTS for Study Abroad II Reading/Writing	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Pre-Study Abroad: Listening/Speaking	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Pre-Study Abroad: Writing	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	必修	日本語 I	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	必修	日本語 II	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	必修	日本事情 I	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	必修	日本事情 II	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Integrated Japanese I Theory	1~4	2	初修者のための日本語・日本文化科目
国際人の形成 (語学)	選択	Integrated Japanese I Practice	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Integrated Japanese II Theory	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Integrated Japanese II Practice	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Integrated Japanese III Theory	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Integrated Japanese III Practice	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Reading I	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Reading II	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Reading III	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Listening I	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Listening II	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Listening III	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Writing I	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Writing II	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Writing III	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Project Work I	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Project Work II	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Project Work III	1~4	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Culture and Society A	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Culture and Society B	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Introduction to Japanology A	1~4	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Introduction to Japanology B	1~4	2	
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択必修	キャリアデザイン入門	1	2	
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択必修	コミュニケーション&マナー	1	2	
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択必修	キャリアデザイン実践	2	2	
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択必修	キャリアデベロップメント	3~4	2	
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択必修	インターンシップ入門	3~4	2	
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択必修	アントレプレナーシップ	3~4	2	
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択必修	口頭表現法	1~4	2	
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択必修	プレゼンテーション技法	1~4	2	
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択必修	文章読解	1~4	2	
キャリア・市民形成 (キャリア)	選択必修	レポート・論文のまとめ方	1~4	2	

キャリア・市民形成（市民形成）	選択必修	日本国憲法	1～4	2	2単位選択必修
キャリア・市民形成（市民形成）	選択必修	グローバル市民論	1～4	2	
キャリア・市民形成（市民形成）	選択必修	環境政策論	1～4	2	
キャリア・市民形成（市民形成）	選択必修	情報化社会と人間	1～4	2	
キャリア・市民形成（市民形成）	選択必修	ダイバーシティ論	1～4	2	
キャリア・市民形成（市民形成）	選択必修	障害学	1～4	2	
キャリア・市民形成（市民形成）	選択必修	ジェンダー論	1～4	2	
キャリア・市民形成（市民形成）	選択必修	社会貢献活動入門	1～4	2	
キャリア・市民形成（市民形成）	選択必修	地域マネジメント	1～4	2	
キャリア・市民形成（市民形成）	選択必修	公務員論	1～4	2	
キャリア・市民形成（市民形成）	選択必修	食と健康	1～4	2	
キャリア・市民形成（市民形成）	選択必修	基礎会計学	1～4	2	
キャリア・市民形成（情報）	必修	情報リテラシーⅠ	1～4	2	
キャリア・市民形成（情報）	必修	情報リテラシーⅡ	1～4	2	
キャリア・市民形成（情報）	選択	プログラミング基礎Ⅰ	1～4	2	
キャリア・市民形成（情報）	選択	プログラミング基礎Ⅱ	1～4	2	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技Ⅰ	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技Ⅱ	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技Ⅲ	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技Ⅳ	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学講義Ⅰ	1～4	2	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学講義Ⅱ	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	全学総合A	1～4	2	栄養科学科のみ2単位選択必修
総合・学際	選択／選択必修	全学総合B	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	全学総合C	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	全学総合D	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	全学総合E	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	全学総合F	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	全学総合G	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	全学総合H	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	全学総合I	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	全学総合J	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	全学総合K	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	全学総合L	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	全学総合M	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	総合A	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	総合B	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	総合C	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	総合D	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	総合E	1～4	2	
総合・学際	選択／選択必修	総合F	1～4	2	

(2)ー1 健康スポーツ科学部健康スポーツ科学科 専門教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
学部共通科目	必修	健康スポーツ科学基礎演習Ⅰ	1	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツ科学基礎演習Ⅱ	1	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツキャリアデザインA	1	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツキャリアデザインB	1	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツ科学プロジェクト演習A	2	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツ科学プロジェクト演習B	2	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツ科学演習Ⅰ	3	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツ科学演習Ⅱ	3	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツ科学演習Ⅲ	4	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツ科学演習Ⅳ	4	2	
学部共通科目	必修	卒業研究・論文Ⅰ	4	2	
学部共通科目	必修	卒業研究・論文Ⅱ	4	2	
学科専門科目	必修	健康・スポーツの自然科学	1	2	
学科専門科目	必修	健康・スポーツの人文・社会科学	1	2	
学科専門科目	必修	スポーツ哲学	1	2	
学科専門科目	必修	ベーシック・トレーニング	1	1	
学科専門科目	必修	国際健康スポーツ交流A	1	2	
学科専門科目	必修	健康スポーツアクティビティⅠA	1	1	
学科専門科目	必修	健康スポーツアクティビティⅠB	1	1	
学科専門科目	必修	健康スポーツアクティビティⅢA	1	1	
学科専門科目	必修	健康スポーツアクティビティⅢB	1	1	
学科専門科目	必修	トレーニング概論	2	2	
学科専門科目	必修	健康スポーツアクティビティⅠC	2	1	
学科専門科目	必修	健康スポーツアクティビティⅠD	2	1	
学科専門科目	必修	健康スポーツアクティビティⅡA	2	1	
学科専門科目	必修	健康スポーツアクティビティⅡB	2	1	
学科専門科目	必修	健康スポーツアクティビティⅡC	3	1	
学科専門科目	必修	健康スポーツアクティビティⅡD	3	1	
学科専門科目	選択	健康スポーツ情報	1	2	
学科専門科目	選択	健康スポーツ統計	1	2	
学科専門科目	選択	運動学(運動方法学を含む)	1	2	
学科専門科目	選択	コーチング概論	1	2	
学科専門科目	選択	力学基礎	1	2	
学科専門科目	選択	生理学	1～4	2	
学科専門科目	選択	解剖学	1～4	2	
学科専門科目	選択	レクリエーション実習	1～4	1	
学科専門科目	選択	レクリエーション論	1～4	2	
学科専門科目	選択	公衆衛生学	1～4	2	
学科専門科目	選択	生涯スポーツ論	1～4	2	
学科専門科目	選択	精神保健学	1～4	2	
学科専門科目	選択	アダプテッドスポーツ実習	1～4	1	
学科専門科目	選択	健康スポーツ文化論	1～4	2	
学科専門科目	選択	運動生理学Ⅰ	1～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツと応急処置	1～4	2	
学科専門科目	選択	危機管理と救急法	1～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツマネジメント	1～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツビジネス	1～4	2	
学科専門科目	選択	医学概論	1～4	2	
学科専門科目	選択	外国語文献講読	1～4	2	
学科専門科目	選択	免疫と薬理	1～4	2	
学科専門科目	選択	生活習慣と健康	1～4	2	
学科専門科目	選択	健康スポーツボランティア活動A	1～4	2	
学科専門科目	選択	健康スポーツボランティア活動B	1～4	2	
学科専門科目	選択	国際健康スポーツ交流B	1～4	2	
学科専門科目	選択	国際健康スポーツ交流C	1～4	2	
学科専門科目	選択	国際健康スポーツ交流D	1～4	2	
学科専門科目	選択	解剖学実習	2	1	

学科専門科目	選択	バイオメカニクス実習	2	1	
学科専門科目	選択	生理・生化学実習	2	1	
学科専門科目	選択	運動生理学実習	2	1	
学科専門科目	選択	フィールドワーク実習	2	1	
学科専門科目	選択	スポーツのコーチング理論Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	スポーツのコーチング理論Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	スポーツのコーチング演習Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	スポーツ生理学	2	2	
学科専門科目	選択	スポーツ心理学	2	2	
学科専門科目	選択	力学演習	2	2	
学科専門科目	選択	バイオメカニクス	2	2	
学科専門科目	選択	センシング技術	2	2	
学科専門科目	選択	プログラミング演習（データ処理含む）	2	2	
学科専門科目	選択	人体組織学	2～4	2	
学科専門科目	選択	機能解剖学	2～4	2	
学科専門科目	選択	運動生理学Ⅱ	2～4	2	
学科専門科目	選択	生化学	2～4	2	
学科専門科目	選択	運動疫学	2～4	2	
学科専門科目	選択	健康社会学	2～4	2	
学科専門科目	選択	ヘルスプロモーション論	2～4	2	
学科専門科目	選択	高齢者健康スポーツ指導法	2～4	1	
学科専門科目	選択	子ども健康スポーツ指導法	2～4	1	
学科専門科目	選択	健康教育学	2～4	2	
学科専門科目	選択	学校環境衛生実習	2～4	1	
学科専門科目	選択	学校保健（小児保健を含む）	2～4	2	
学科専門科目	選択	障がい者スポーツ論	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ史	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ社会学	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ人類学	2～4	2	
学科専門科目	選択	日本文化とスポーツ	2～4	2	
学科専門科目	選択	国際開発論	2～4	2	
学科専門科目	選択	国際交流論	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ栄養学Ⅰ	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ栄養学Ⅱ	2～4	2	
学科専門科目	選択	健康栄養学	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ医学Ⅰ（内科）	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ医学Ⅱ（整形外科）	2～4	2	
学科専門科目	選択	アスリートの健康（予防とマネジメント）	2～4	2	
学科専門科目	選択	アスレティックトレーニング指導法	2～4	1	
学科専門科目	選択	トレーニングプログラミング論	2～4	2	
学科専門科目	選択	アスレティックトレーニング論	2～4	2	
学科専門科目	選択	アスレティックコンディショニング演習	2～4	1	
学科専門科目	選択	スポーツ組織論	2～4	2	
学科専門科目	選択	トップスポーツ論	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ政策論	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ施設マネジメント	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツとメディア	2～4	2	
学科専門科目	選択	地域スポーツクラブ論	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツマーケティング	2～4	2	
学科専門科目	選択	測定評価	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツの法と倫理	2～4	2	
学科専門科目	選択	身体文化論	2～4	2	
学科専門科目	選択	健康政策と行政	2～4	2	
学科専門科目	選択	健康づくり運動指導法実習	2～4	1	
学科専門科目	選択	エアロビクス指導法	2～4	1	
学科専門科目	選択	健康スポーツインターンシップA	2～4	2	
学科専門科目	選択	健康スポーツインターンシップB	2～4	2	
学科専門科目	選択	健康スポーツ特別演習A	2～4	2	
学科専門科目	選択	健康スポーツ特別演習B	2～4	2	

学科専門科目	選択	スポーツのコーチング演習Ⅱ	3	2	
学科専門科目	選択	スポーツダイナミクス解析	3	2	
学科専門科目	選択	シミュレーション演習	3	2	
学科専門科目	選択	スポーツとコンディショニング	3～4	2	
学科専門科目	選択	労働基準法	3～4	2	
学科専門科目	選択	労働衛生Ⅰ	3～4	2	
学科専門科目	選択	労働衛生Ⅱ	3～4	2	
学科専門科目	選択	労働安全衛生法Ⅰ	3～4	2	
学科専門科目	選択	労働安全衛生法Ⅱ	3～4	2	
学科専門科目	選択	健康産業施設等現場実習	4	1	
教職科目	選択	養護概説	1	2	卒業要件外
教職科目	選択	看護学Ⅰ	1	2	卒業要件外
教職科目	選択	看護学Ⅱ	2	2	卒業要件外
教職科目	選択	看護学Ⅲ	2	2	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（水泳）	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（ダンス）	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（柔道）	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（剣道）	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（サッカー）	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（バレーボール）	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（バスケットボール）	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（テニス）	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（バドミントン）	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（陸上）	3	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（器械運動）	3	1	卒業要件外
教職科目	選択	看護学実習	3	2	卒業要件外

(2)ー2 健康スポーツ科学部栄養科学科 専門教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
学部共通科目	必修	健康スポーツ科学基礎演習Ⅰ	1	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツ科学基礎演習Ⅱ	1	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツキャリアデザインA	1	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツキャリアデザインB	1	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツ科学プロジェクト演習A	2	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツ科学プロジェクト演習B	2	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツ科学演習Ⅰ	3	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツ科学演習Ⅱ	3	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツ科学演習Ⅲ	4	2	
学部共通科目	必修	健康スポーツ科学演習Ⅳ	4	2	
学部共通科目	必修	卒業研究・論文Ⅰ	4	2	
学部共通科目	必修	卒業研究・論文Ⅱ	4	2	
学科専門科目	必修	基礎化学Ⅰ	1	2	
学科専門科目	必修	基礎栄養学	1	2	
学科専門科目	必修	公衆衛生学	1	2	
学科専門科目	必修	細胞生物学	1	2	
学科専門科目	必修	生理学	1	2	
学科専門科目	必修	社会生活と健康	1	2	
学科専門科目	必修	基礎栄養学実験	1	1	
学科専門科目	必修	免疫生化学	2	2	
学科専門科目	必修	運動生理学	2	2	
学科専門科目	必修	細胞生物学実験	2	1	
学科専門科目	必修	栄養疫学	2	2	
学科専門科目	必修	運動生理学実験	2	1	
学科専門科目	必修	スポーツ栄養学実習	3	1	
学科専門科目	必修	メディカルライティング	3	2	
学科専門科目	選択必修	スポーツ栄養学	1	2	
学科専門科目	選択必修	食品学	1	2	
学科専門科目	選択必修	食品学実験	1	1	
学科専門科目	選択必修	基礎化学Ⅱ	1	2	
学科専門科目	選択必修	調理学実習	1	1	
学科専門科目	選択必修	食品微生物学	1	2	
学科専門科目	選択必修	食品衛生学	1	2	
学科専門科目	選択必修	公衆栄養学	2	2	
学科専門科目	選択必修	栄養指導論	2	2	
学科専門科目	選択必修	栄養と心理	2	2	
学科専門科目	選択必修	栄養生化学	2	2	
学科専門科目	選択必修	栄養生化学実習	2	1	
学科専門科目	選択必修	体力測定評価法	2	2	
学科専門科目	選択必修	食品衛生学実験	2	1	
学科専門科目	選択必修	動物学	2	2	
学科専門科目	選択必修	無機化学	2	2	
学科専門科目	選択必修	ライフステージ栄養学	2	2	
学科専門科目	選択必修	機能解剖学	2	2	
学科専門科目	選択必修	有機化学Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択必修	予防医学概論	2	2	
学科専門科目	選択必修	大量調理マネジメント(理論)	2	2	
学科専門科目	選択必修	大量調理マネジメント(実践)	2	1	
学科専門科目	選択必修	大量調理とHACCP(理論)	2	2	
学科専門科目	選択必修	大量調理とHACCP(実践)	2	1	
学科専門科目	選択必修	栄養指導論実習	3	1	
学科専門科目	選択必修	栄養疫学実習	3	1	
学科専門科目	選択必修	スポーツ栄養マネジメント(運営理論)	3	2	
学科専門科目	選択必修	スポーツ栄養マネジメント(実践)	3	1	
学科専門科目	選択必修	健康づくりと運動プログラム	3	2	
学科専門科目	選択必修	応急手当法	3	2	
学科専門科目	選択必修	食理学Ⅰ	3	2	

学科専門科目	選択必修	食理学Ⅱ	3	2	
学科専門科目	選択必修	機器分析	3	2	
学科専門科目	選択必修	有機化学Ⅱ	3	2	
学科専門科目	選択必修	臨床栄養学	3	2	
学科専門科目	選択必修	ライフステージ栄養学実習	3	1	
学科専門科目	選択必修	臨床栄養学実習	3	1	
学科専門科目	選択必修	解剖生理学実験	3	1	
学科専門科目	選択必修	校外実習	3	1	
学科専門科目	選択必修	医療保険	4	2	
学科専門科目	選択必修	調理学	1	2	
学科専門科目	選択	情報処理数学Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	情報処理数学Ⅱ	1	2	
学科専門科目	選択	健康づくり運動の実際（ウォーキング）	1	1	
学科専門科目	選択	健康づくり運動の実際（エアロビクス）	1	1	
学科専門科目	選択	プログラミング言語Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	プログラミング言語Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	健康づくり運動の実際（水泳・水中運動）	2	1	
学科専門科目	選択	健康づくり運動の実際（レジスタンストレーニング）	2	1	
学科専門科目	選択	スポーツ心理学	2	2	
学科専門科目	選択	マーケティング学	2	2	
学科専門科目	選択	意思決定理論	2	2	
学科専門科目	選択	食品パッケージ論	2	2	
学科専門科目	選択	持続可能社会と食環境づくり	3	2	
学科専門科目	選択	データサイエンスⅠ	3	2	
学科専門科目	選択	データサイエンスⅡ	3	2	
学科専門科目	選択	認知科学	3	2	
学科専門科目	選択	行動経済学	3	2	
学科専門科目	選択	マスコミ概論	3	2	
学科専門科目	選択	起業基礎（ビジネスマナー含む）	3	2	
学科専門科目	選択	ソムリエ概論	3	2	
学科専門科目	選択	国際栄養科学交流	3	2	
学科専門科目	選択	機械学習Ⅰ	4	2	
学科専門科目	選択	機械学習Ⅱ	4	2	

(3)ー1 健康スポーツ科学部健康スポーツ科学科 他学部他学科開放科目

学部	学科	科目名	配当学年	単位数	履修方法
健康スポーツ科学部	栄養科学科	情報処理数学Ⅰ	1	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	情報処理数学Ⅱ	1	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	栄養と心理	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	プログラミング言語Ⅰ	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	プログラミング言語Ⅱ	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	マーケティング学	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	意思決定理論	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	食品パッケージ論	2	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	持続可能社会と食環境づくり	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	健康づくり運動の実際(エアロビクス)	1	1	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	データサイエンスⅠ	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	データサイエンスⅡ	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	認知科学	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	マスコミ概論	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	行動経済学	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	起業基礎(ビジネスマナー含む)	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	ソムリエ概論	3	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	医療保険	4	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	機械学習Ⅰ	4	2	
健康スポーツ科学部	栄養科学科	機械学習Ⅱ	4	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	アドミニストレーション論	1	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	欧米の社会福祉史	1	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	社会開発論	1	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	社会福祉発達史	1	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	SDGs入門	2~4	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	ジェンダーと福祉	2~4	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	ソーシャルアクション論	2~4	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	人間の幸福とペット	2~4	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	福祉ICT	2~4	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	社会福祉の権利	3~4	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	保育原理	1	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	児童・家庭福祉	1	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	教育と福祉	1~4	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	社会的養護	1	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	子ども家庭支援論	4	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	国際児童福祉	1~4	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	子どもの保健	2	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	発達心理学	1	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	人間工学	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	建築歴史意匠A	1	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	プロダクトデザイン基礎	1	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	マーケティング	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	建築歴史意匠B	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	産業とプロダクトデザイン	3	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	道具の歴史	1	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	ヒューマンインターフェース	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	安全工学	3~4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	情報メディアデザイン	3~4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	リハビリテーション工学	3~4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	医療福祉建築計画	3~4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	支援技術とデザイン	3~4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	福祉住環境コーディネート論	3~4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	環境デザイン論	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	International Design Practices	1~4	2	

(3)ー2 健康スポーツ科学部栄養科学科 他学部他学科開放科目

学部	学科	科目名	配当学年	単位数	履修方法
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康・スポーツの自然科学	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康・スポーツの人文・社会科学	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ哲学	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	運動学（運動方法学を含む）	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康スポーツ情報	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	コーチング概論	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	力学基礎	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康スポーツ統計	1	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	解剖学	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	レクリエーション論	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	生涯スポーツ論	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	精神保健学	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康スポーツ文化論	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツマネジメント	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツビジネス	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	医学概論	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	免疫と薬理	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	生活習慣と健康	1～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	トレーニング概論	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツのコーチング理論Ⅰ	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツのコーチング理論Ⅱ	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ生理学	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	バイオメカニクス	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	センシング技術	2	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	人体組織学	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	運動疫学	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康社会学	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	ヘルスプロモーション論	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康教育学	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	学校保健（小児保健を含む）	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	障がい者スポーツ論	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ史	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ社会学	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ人類学	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	日本文化とスポーツ	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	国際開発論	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	国際交流論	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ医学Ⅰ（内科）	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ医学Ⅱ（整形外科）	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	アスリートの健康（予防とマネジメント）	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	アスレティックトレーニング論	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ組織論	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	トップスポーツ論	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ政策論	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツ施設マネジメント	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツとメディア	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	地域スポーツクラブ論	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツマーケティング	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	測定評価	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツの法と倫理	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	身体文化論	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	健康政策と行政	2～4	2	
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	スポーツとコンディショニング	3～4	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	アドミニストレーション論	1	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	欧米の社会福祉史	1	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	社会開発論	1	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	社会福祉発達史	1	2	

福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	S D G s 入門	2～4	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	ジェンダーと福祉	2～4	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	ソーシャルアクション論	2～4	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	人間の幸福とペット	2～4	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	福祉 I C T	2～4	2	
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	社会福祉の権利	3～4	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	保育原理	1	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	児童・家庭福祉	1	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	教育と福祉	1～4	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	社会的養護	1	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	子ども家庭支援論	4	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	教育基礎論	1	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	国際児童福祉	1～4	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	子どもの保健	2	2	
福祉社会デザイン学部	子ども支援学科	発達心理学	1	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	人間工学	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	建築歴史意匠A	1	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	プロダクトデザイン基礎	1	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	マーケティング	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	建築歴史意匠B	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	産業とプロダクトデザイン	3	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	道具の歴史	1	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	ヒューマンインターフェース	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	安全工学	3～4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	情報メディアデザイン	3～4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	リハビリテーション工学	3～4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	医療福祉建築計画	3～4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	支援技術とデザイン	3～4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	福祉住環境コーディネート論	3～4	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	環境デザイン論	2	2	
福祉社会デザイン学部	人間環境デザイン学科	International Design Practices	1～4	2	

(4) 健康スポーツ科学部健康スポーツ科学科 教職科目 (卒業要件外)

区分	科目名	配当学年	単位数	履修方法
教科及び教科の指導法に関する科目	保健科教育論Ⅰ	2	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	保健科教育論Ⅱ	2	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	保健体育科教育法Ⅰ	2	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	保健体育科教育法Ⅱ	2	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	保健科指導法Ⅰ	3	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	保健科指導法Ⅱ	3	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	保健体育科指導法Ⅰ	3	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	保健体育科指導法Ⅱ	3	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育基礎論	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教職概論	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育制度論	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育心理学	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	特別支援教育基礎論	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育課程総論	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育課程総論 (養護教諭)	2	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	道徳教育論	3	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育方法の理論と実践 (情報通信技術を含む)	2	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	生徒指導論 (進路指導論を含む)	2	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育相談	2	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	養護実習基礎演習	3	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育実習Ⅰ (事前・事後指導を含む)	4	5	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育実習Ⅱ (事前・事後指導を含む)	4	3	
教育の基礎的理解に関する科目等	養護実習 (事前・事後指導を含む)	4	5	
教育の基礎的理解に関する科目等	教職実践演習 (中・高)	4	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教職実践演習 (養護教諭)	4	2	
大学が独自に設定する科目	教職インターンシップA	3	2	
大学が独自に設定する科目	教職インターンシップB	3	2	

別表第4 卒業に必要な単位等（第5条関係）

学科	単位数
健康スポーツ科学科	<p>1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。</p> <p>2) 基盤教育科目で、哲学・思想2単位以上、国際人の形成の語学の外国語科目必修8単位、キャリア・市民形成のキャリア2単位以上、市民形成2単位以上、情報4単位以上を含み、18単位以上を修得すること。また、外国人留学生入試入学者は、上記の他に、国際人の形成の語学の留学生対象科目必修6単位を修得すること。</p> <p>3) 専門教育科目で、学部共通科目を24単位以上（うち必修科目24単位）、学科専門科目を61単位以上（うち必修科目21単位、選択科目40単位以上）修得すること。</p>
栄養科学科	<p>1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。</p> <p>2) 基盤教育科目で、哲学・思想2単位以上、学問の基礎2単位以上、国際人の形成の語学の外国語科目必修8単位、キャリア・市民形成のキャリア2単位以上、市民形成2単位以上、情報4単位以上、総合・学際2単位以上を含み、22単位以上を修得すること。また、外国人留学生入試入学者は、上記の他に、国際人の形成の語学の留学生対象科目必修6単位を修得すること。</p> <p>3) 専門教育科目で、学部共通科目を24単位以上（うち必修科目24単位）、学科専門科目を32単位以上（うち必修科目24単位、選択必修科目8単位以上）を含み、90単位以上修得すること。</p>

別表第5 教育職員免許状取得のための授業科目及び単位数（第8条第1号関係）

健康スポーツ学部健康スポーツ科学科

(1) 中学校教諭1種免許状（保健）

①教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
生理学・栄養学	10単位	生理学	1～3	2	必修
		生化学	2～3	2	必修
		生理・生化学実習	2	1	選択必修
		運動生理学Ⅰ	1～4	2	必修
		スポーツ生理学	2	2	必修
		運動生理学実習	2	1	選択必修
		スポーツ栄養学Ⅰ	2～3	2	必修
		測定評価	2～4	2	選択必修
		食と健康	1～4	2	選択必修
衛生学・公衆衛生学	2単位	公衆衛生学	1～3	2	必修
		運動疫学	2～4	2	選択必修
		学校環境衛生実習	2～4	1	選択必修
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	6単位	学校保健（小児保健を含む）	2～3	2	必修
		精神保健学	1～3	2	必修
		生活習慣と健康	1～4	2	選択必修
		危機管理と救急法	1～3	2	必修
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	8単位	保健科教育論Ⅰ	2	2	必修
		保健科教育論Ⅱ	2	2	必修
		保健科指導法Ⅰ	3	2	必修
		保健科指導法Ⅱ	3	2	必修
小計	28単位	—	—	—	—

②教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育基礎論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
		特別支援教育基礎論	1～3	2	必修
		教育課程総論	1	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	道徳教育論	3	2	必修
		特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	必修
		教育方法の理論と実践（情報通信技術を含む）	2	2	必修
		生徒指導論（進路指導論を含む）	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実践に関する科目	7単位	教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）	4	5	必修
		教職実践演習（中・高）	4	2	必修
小計	29単位	—	—	—	—

③大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	教職インターンシップA	3	2	
		教職インターンシップB	3	2	
小計	—	—	—	—	

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

(2) 中学校教諭1種免許状(保健体育)

①教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
体育実技	7単位	スポーツ実習・指導法(水泳)	2	1	必修
		スポーツ実習・指導法(陸上)	3	1	必修
		スポーツ実習・指導法(器械運動)	3	1	必修
		スポーツ実習・指導法(サッカー)	2	1	いずれか2科目選択必修
		スポーツ実習・指導法(バレーボール)	2	1	
		スポーツ実習・指導法(テニス)	2	1	
		スポーツ実習・指導法(バドミントン)	2	1	
		スポーツ実習・指導法(バスケットボール)	2	1	
		スポーツ実習・指導法(剣道)	2	1	いずれか1科目選択必修
		スポーツ実習・指導法(柔道)	2	1	いずれか1科目選択必修
		スポーツ実習・指導法(ダンス)	2	1	
		エアロビクス指導法	2~3	1	
		レクリエーション実習	1~4	1	
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	4単位	スポーツ心理学	2
運動学(運動方法学を含む)	1			2	必修
生理学(運動生理学を含む。)	10単位	生理学	1~3	2	必修
		生化学	2~3	2	必修
		生理・生化学実習	2	1	
		運動生理学Ⅰ	1~4	2	必修
		スポーツ生理学	2	2	必修
		運動生理学実習	2	1	
		スポーツ栄養学Ⅰ	2~3	2	必修
		測定評価	2~4	2	
衛生学・公衆衛生学	2単位	公衆衛生学	1~3	2	必修
		運動疫学	2~4	2	
		学校環境衛生実習	2~4	1	
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	6単位	学校保健(小児保健を含む)	2~3	2	必修
		精神保健学	1~3	2	必修
		生活習慣と健康	1~4	2	
		危機管理と救急法	1~3	2	必修
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	8単位	保健体育科教育法Ⅰ	2	2	必修
		保健体育科教育法Ⅱ	2	2	必修
		保健体育科指導法Ⅰ	3	2	必修
		保健体育科指導法Ⅱ	3	2	必修
小計	37単位	—	—	—	

②教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育基礎論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
		特別支援教育基礎論	1~3	2	必修
		教育課程総論	1	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	道徳教育論	3	2	必修
		特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	必修
		教育方法の理論と実践(情報通信技術を含む)	2	2	必修
		生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実践に関する科目	7単位	教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)	4	5	必修
		教職実践演習(中・高)	4	2	必修
小計	29単位	—	—	—	

③大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	教職インターンシップA	3	2	
		教職インターンシップB	3	2	
小計	—	—	—	—	

合計	66単位	①、②、③の合計で66単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

(3) 高等学校教諭1種免許状(保健)

①教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」	14単位	生理学	1～3	2	必修
		生化学	2～3	2	必修
		生理・生化学実習	2	1	
		運動生理学Ⅰ	1～4	2	必修
		スポーツ生理学	2	2	必修
		運動生理学実習	2	1	
		スポーツ栄養学Ⅰ	2～3	2	必修
		測定評価	2～4	2	
		食と健康	1～4	2	
		解剖学	1～3	2	必修
		人体組織学	2～3	2	必修
		解剖学実習	2	1	
		機能解剖学	2～4	2	
衛生学・公衆衛生学	2単位	公衆衛生学	1～3	2	必修
		運動疫学	2～4	2	
		学校環境衛生実習	2～4	1	
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	6単位	学校保健(小児保健を含む)	2～3	2	必修
		精神保健学	1～3	2	必修
		生活習慣と健康	1～4	2	
		危機管理と救急法	1～3	2	必修
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	4単位	保健科教育論Ⅰ	2	2	
		保健科教育論Ⅱ	2	2	
		保健科指導法Ⅰ	3	2	必修
		保健科指導法Ⅱ	3	2	必修
小計	26単位	—	—	—	—

②教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育基礎論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
		特別支援教育基礎論	1～3	2	必修
		教育課程総論	1	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	必修
		教育方法の理論と実践(情報通信技術を含む)	2	2	必修
		生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実践に関する科目	5単位	教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)※	4	5	いずれか1科目選択 必修
		教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)	4	3	
		教職実践演習(中・高)	4	2	
小計	25単位	—	—	—	—

※高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

③大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	教職インターンシップA	3	2	
		教職インターンシップB	3	2	
		道徳教育論	3	2	
小計	—	—	—	—	—

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

(4) 高等学校教諭1種免許状(保健体育)

①教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
体育実技	7単位	スポーツ実習・指導法(水泳)	2	1	必修
		スポーツ実習・指導法(陸上)	3	1	必修
		スポーツ実習・指導法(器械運動)	3	1	必修
		スポーツ実習・指導法(サッカー)	2	1	いずれか2科目選択必修
		スポーツ実習・指導法(バレーボール)	2	1	
		スポーツ実習・指導法(テニス)	2	1	
		スポーツ実習・指導法(バドミントン)	2	1	
		スポーツ実習・指導法(バスケットボール)	2	1	いずれか1科目選択必修
		スポーツ実習・指導法(剣道)	2	1	
		スポーツ実習・指導法(柔道)	2	1	いずれか1科目選択必修
		スポーツ実習・指導法(ダンス)	2	1	
		エアロビクス指導法	2～3	1	
		レクリエーション実習	1～4	1	
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	4単位	スポーツ心理学	2
運動学(運動方法学を含む)	1			2	必修
生理学(運動生理学を含む。)	14単位	生理学	1～3	2	必修
		生化学	2～3	2	必修
		生理・生化学実習	2	1	
		運動生理学Ⅰ	1～4	2	必修
		スポーツ生理学	2	2	必修
		運動生理学実習	2	1	
		スポーツ栄養学Ⅰ	2～3	2	必修
		測定評価	2～4	2	
		食と健康	1～4	2	
		解剖学	1～3	2	必修
		人体組織学	2～3	2	必修
		解剖学実習	2	1	
		機能解剖学	2～4	2	
衛生学・公衆衛生学	2単位	公衆衛生学	1～3	2	必修
		運動疫学	2～4	2	
		学校環境衛生実習	2～4	1	
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	6単位	学校保健(小児保健を含む)	2～3	2	必修
		精神保健学	1～3	2	必修
		生活習慣と健康	1～4	2	
		危機管理と救急法	1～3	2	必修
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	4単位	保健体育科教育法Ⅰ	2	2	
		保健体育科教育法Ⅱ	2	2	
		保健体育科指導法Ⅰ	3	2	必修
		保健体育科指導法Ⅱ	3	2	必修
小計	37単位	—	—	—	

②教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育基礎論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
		特別支援教育基礎論	1～3	2	必修
		教育課程総論	1	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	必修
		教育方法の理論と実践(情報通信技術を含む)	2	2	必修
		生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実践に関する科目	5単位	教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)※	4	5	いずれか1科目選択必修
		教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)	4	3	
		教職実践演習(中・高)	4	2	必修
小計	25単位	—	—	—	

※高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

③大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	教職インターンシップA	3	2	
		教職インターンシップB	3	2	
		道徳教育論	3	2	
小計	—	—	—	—	

合計	62単位	①、②、③の合計で62単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

(5) 養護教諭1種免許状

①養護に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）	4単位	公衆衛生学	1～3	2	必修
		運動疫学	2～4	2	
		学校環境衛生実習	2～4	1	
		医学概論	1～3	2	必修
学校保健	2単位	学校保健（小児保健を含む）	2～3	2	必修
		生活習慣と健康	1～4	2	
養護概説	2単位	養護概説	1	2	必修
健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	2単位	健康教育学	2～3	2	必修
		ヘルスプロモーション論	2～4	2	
栄養学（食品学を含む。）	2単位	スポーツ栄養学Ⅰ	2～3	2	必修
		食と健康	1～4	2	
解剖学・生理学	12単位	解剖学	1～3	2	必修
		人体組織学	2～3	2	必修
		解剖学実習	2	1	
		生理学	1～3	2	必修
		生化学	2～3	2	必修
		生理・生化学実習	2	1	
		運動生理学Ⅰ	1～4	2	必修
		スポーツ生理学	2	2	必修
		運動生理学実習	2	1	
		機能解剖学	2～4	2	
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2単位	免疫と薬理	1～3	2	必修
精神保健	2単位	精神保健学	1～3	2	必修
看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	10単位	看護学Ⅰ	1	2	必修
		看護学Ⅱ	2	2	必修
		看護学Ⅲ	2	2	必修
		看護学実習	3	2	必修
		危機管理と救急法	1～3	2	必修
小計	38単位	—	—	—	

②教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育基礎論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
		特別支援教育基礎論	1～3	2	必修
		教育課程総論（養護教諭）	2	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	必修
		道徳教育論	3	2	必修
		教育方法の理論と実践（情報通信技術を含む）	2	2	必修
		生徒指導論（進路指導論を含む）	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実践に関する科目	9単位	養護実習（事前・事後指導を含む）	4	5	必修
		養護実習基礎演習	3	2	必修
		教職実践演習（養護教諭）	4	2	必修
小計	31単位	—	—	—	

③大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	教職インターンシップA	3	2	
		教職インターンシップB	3	2	
小計	—	—	—	—	

合計	69単位	①、②、③の合計で69単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
日本国憲法	2単位	日本国憲法	1～4	2	必修
体育	2単位	スポーツ健康科学実技Ⅰ	1～4	1	これら7科目より2単位選択必修。ただし、スポーツ健康科学実技Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳから必ず1単位を修得すること。
		スポーツ健康科学実技Ⅱ	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技Ⅲ	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技Ⅳ	1～4	1	
		スポーツ健康科学講義Ⅰ	1～4	2	
		スポーツ健康科学講義Ⅱ	1～4	2	
		生涯スポーツ論	1～4	2	
外国語コミュニケーション	2単位	英語ⅠA	1	1	選択必修
		英語ⅠB	1	1	選択必修
		英語ⅡA	1	1	選択必修
		英語ⅡB	1	1	選択必修
		英語ⅢA	2	1	選択必修
		英語ⅢB	2	1	選択必修
		英語ⅣA	2	1	選択必修
		英語ⅣB	2	1	選択必修
数理、データ活用及び人工智能に関する科目又は情報機器の操作	2単位	情報リテラシーⅠ	1～4	2	選択必修
		情報リテラシーⅡ	1～4	2	選択必修

別表第6 食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格取得のための授業科目及び単位数（第8条第2号関係）

健康スポーツ科学部栄養科学科

食品衛生法施行規則による科目等		本学開講科目名	配当学年	単位数	履修方法
区分	基本科目名				
A群 化学関係	分析化学	機器分析	3	2	必修
	有機化学	基礎化学Ⅰ	1	2	必修
		基礎化学Ⅱ	1	2	選択
		有機化学Ⅰ	2	2	必修
		有機化学Ⅱ	3	2	選択
	無機化学	無機化学	2	2	必修
現代化学		1～4	2	選択	
B群 生物化学関係	生物化学	細胞生物学	1	2	必修
		細胞生物学実験	2	1	必修
		動物学	2	2	選択
		栄養生化学実習	2	1	選択
	食品化学	食品学	1	2	必修
	食品分析学	食品学実験	1	1	必修
食品衛生学実験		2	1	必修	
C群 微生物学関係	微生物学	食品パッケージ論	2	2	必修
	食品微生物学	食品微生物学	1	2	必修
D群 公衆衛生学関係	公衆衛生学	公衆衛生学	1	2	必修
	食品衛生学	食品衛生学	1	2	必修
	衛生行政学	大量調理とHACCP(理論)	2	2	必修
		大量調理とHACCP(実践)	2	1	必修
E群 その他の関連科目	水産化学、畜産化学、放射線科学、乳化学、食肉化学、高分子化学、生物有機化学、環境汚染物質分析学、酵素化学、食品理化学、水産生理学、家畜生理学、植物生理学、環境生物学、応用微生物学、酪農微生物学、病理学、医学概論、解剖学、医化学、産業医学、血液学、血清学、遺伝学、寄生虫学、獣医学、栄養化学、衛生統計学、栄養学、環境保健学、衛生管理学、水産製造学、畜産品製造学、農産物製造学、醸造調味食品製造学、乳製品製造学、蒸留酒製造学、缶詰工学、食品工学、食品保存学、冷凍冷蔵学、品質管理学、その他これらに類する食品衛生に関する科目等	基礎栄養学	1	2	必修
		基礎栄養学実験	1	1	必修
		社会生活と健康	1	2	必修
		生理学	1	2	必修
		免疫生化学	2	2	必修
		公衆栄養学	2	2	必修
		栄養疫学	2	2	必修
		スポーツ栄養学実習	3	1	必修
		調理学実習	1	1	選択
		スポーツ栄養学	1	2	選択
		栄養生化学	2	2	選択
		ライフステージ栄養学	2	2	選択
		機能解剖学	2	2	選択
		予防医学概論	2	2	選択
		臨床栄養学	3	2	選択
		ライフステージ栄養学実習	3	1	選択
		解剖生理学実験	3	1	選択
		栄養指導論実習	3	1	選択
		栄養疫学実習	3	1	選択
		臨床栄養学実習	3	1	選択
メディカルライティング	3	2	選択		
食理学Ⅰ	3	2	選択		
食理学Ⅱ	3	2	選択		

※A群～D群については、必修科目をすべて修得し、選択科目から6単位以上を修得すること。

※E群については、必修科目をすべて修得し、選択科目から8単位以上を修得すること。

※編入学により入学した学生は、食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格を取得することはできない。

※転入学により入学した学生が資格を取得する場合は、「食品衛生管理者及び食品衛生監視員の登録養成施設」として登録された学校の養成課程からでないことを認めない。また、登録養成施設であっても既に取得した単位が当学校の科目内容と一致しなければ、資格取得に必要な単位数と認めない。

別表第7 栄養士資格取得のための授業科目及び単位数（第8条第3号関係）

健康スポーツ科学部栄養科学科

栄養士資格に関する指定科目	本学開講科目名	配当学年	単位数		履修方法
			講義又は演習	実験又は実習	
社会生活と健康	公衆衛生学	1	2		必修
	社会生活と健康	1	2		必修
人体の構造と機能	生理学	1	2		必修
	細胞生物学	1	2		必修
	免疫生化学	2	2		必修
	機能解剖学	2	2		必修
	細胞生物学実験	2		1	必修
	解剖生理学実験	3		1	必修
	食品学	1	2		必修
食品と衛生	食品微生物学	1	2		必修
	食品衛生学	1	2		必修
	食品学実験	1		1	必修
	食品衛生学実験	2		1	必修
	基礎栄養学	1	2		必修
栄養と健康	ライフステージ栄養学	2	2		必修
	スポーツ栄養学	1	2		必修
	臨床栄養学	3	2		必修
	基礎栄養学実験	1		1	必修
	ライフステージ栄養学実習	3		1	必修
	スポーツ栄養学実習	3		1	必修
	臨床栄養学実習	3		1	必修
	栄養指導論	2	2		必修
栄養の指導	公衆栄養学	2	2		必修
	栄養疫学	2	2		必修
	栄養指導論実習	3		1	必修
	栄養疫学実習	3		1	必修
	調理学	1	2		必修
給食の運営	大量調理とHACCP(理論)	2	2		必修
	大量調理マネジメント(理論)	2	2		必修
	調理学実習	1		1	必修
	大量調理とHACCP(実践)	2		1	必修
	大量調理マネジメント(実践)	2		1	必修
	校外実習	3		1	必修

※演習科目、実習科目は最大36名の計3クラスで実施する。ただし、講義科目は授業の方法、および施設、設備その他の教育上の諸条件を考慮して、教育効果を十分にあげられると判断した場合、講義は上限100名で行う。